

## 補助金対象事業報告書(平成24年度)

法人名	特定非営利活動法人 <b>一休会</b> (平成 24 年 2 月法人設立)		
事業名	<b>成年後見制度普及啓発事業</b>		
事業費	488,900	補助金額	300,000

### 1 助成対象事業費内訳(実績)

収入		予算額	決算額	決算額内訳
	団体負担金	149,600	145,392	
	参加費・資料代等		30,000	25/2/2 講演会 会費 ¥500 × 60名
	その他の収入		13,508	すぎなみNPOフェスタでのバザー売上(純利益分)
	NPO支援基金助成	300,000	300,000	
	計	449,600	488,900	

支出	費目	予算額	決算額	決算額内訳
	報償費	108,000	50,000	24/10/20講演会講師代(¥30000) 25/2/2 講演会講師代(¥20000) 他の出前講座(9回実施)の講師は一休会の役員が務めたことにより、報償費は支払わず。
	旅費	24,000	5,000	24/10/20講師宛支払い
	備品費・消耗品費	169,800	298,187	PC購入(¥144585) マイク&ラジカセ購入(¥7360 25/2/2講演会で使用) パネル制作費(¥23562 講演会等で使用) 印刷費(¥106600) 消耗品費(¥16080)
	役務費	68,000	64,573	24/10/20 手話通訳料(¥7600) 24/10/20 講師用意の資料代(¥15000) 切手代(¥41873) FAX代(¥100)
	使用料・賃借料	34,800	500	25/2/2 講演会会場費(阿佐ヶ谷中学 ¥500)
	その他の経費	45,000	70,640	スタッフ交通費(明細別紙 ¥69140) 寄付金(¥1500)
	計	449,600	488,900	

## 2 事業の目的・内容

<b>目的</b>	認知症高齢者や精神・知的障がい者が地域で安心して暮らしていくためには、彼らの権利を擁護する成年後見人が必要とされている。しかしながら成年後見人の必要性が唱えられているものの、必要とされている区民やその家族への周知が不十分であり、後見人のなり手の不足も指摘されている。ついては、必要と思われる区民やその家族への後見人制度に対する理解や利用啓発を図り、区民(市民)後見人の養成や支援につなげていくことを目的とする。
<b>計画内容</b>	障害者施設へ出向き、家族会等で後見制度に関する出前講座の開催、障害や後見制度をテーマとした講演会やイベントを開催、等を通じ障害や後見制度にたいする区民の理解や利用普及を目指す

## 3 事業の実施状況

	事業計画時(予定)	事業実施時
<b>実施状況</b>	<p>実施日時</p> <p>1. 成年後見制度普及啓発事業(出前講座) 平成24年7月20日(金) 午後2時～午後3時 実施場所 いたるセンター あげぼの作業所 その後 年3～4回を予定(開催時期および場所は未定)</p> <p>2. 成年後見制度普及啓発事業(講演会) 平成24年10月20日(土) 午後1時～午後5時 実施場所 高円寺障がい者交流会館</p>	<p>実施日時</p> <p>1. 成年後見制度普及啓発事業(出前講座) 平成24年7月20日(金) あげぼの作業所 平成24年9月28日(金) NPO法人浜田山 平成24年10月6日(土) 渋谷区総合ケアコミュニティせせらぎ 平成24年10月25日(木) 板橋社会福祉士会 平成24年10月29日(月) 杉並総合高校(「奉仕の授業」) 平成24年11月7日(水) こすもす生活園 平成24年12月14日(金) なのはな生活園 平成25年1月12日(土) すぎのき生活園 平成25年1月21日 杉並総合高校(奉仕の授業)</p> <p>2. 成年後見制度普及啓発事業(講演会) 平成24年10月20日(土) テーマ「障害者の権利擁護について」 平成25年2月2日(土) テーマ「ユニバーサル・ミュージアムの可能性を求めて～色にさわる、音にさわる、心にさわる～」</p> <p>3. 成年後見制度普及啓発事業(その他) 平成24年10月13・14日 障害者福祉会館祭り参加 平成24年12月22日(日) すぎなみNPOフェスタ 参加 平成25年1月29日～2月8日 ユニバーサルアート展示会開催</p>

## 4 実施事業の効果・成果

	事業計画時の「期待される効果」	事業実施後の「実際の効果・成果」
<b>効果・成果</b>	知的障がい者や精神障がい者等に等にとって、地域で暮らしていくためには、地域の人を巻き込んだ共助の体制作りが必要となってきた。本人の権利を守り、地域で暮らしていくためにも、成年後見制度の理解を深める。	出前講座により、障がい者本人やその後家族が必要としている後見制度に関するニーズが掘り起こせた段階と思われる。直ぐに後見制度の利用とはならないが、今後もこの出前講座を継続していくことで、利用に向けて一助になると考えている。又、講演会や展示会、フェスティバル参加等により、区民に向けて 障がいにたいする理解を深め、地域で支えていく意識の醸成が図れたと思う。

## 5 自己評価

自己評価 1	事業は当初の予定どおり実施できましたか
	<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった 設立1年目のNPO法人ということもあり、まずは地域に存在を認知してもらうことを最重点に掲げ、当初の計画以上に種々の事業を実施した。
自己評価 2	当初に想定していた「期待される効果」をあげることができましたか
	<input type="checkbox"/> できた <input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった NPO法人の認知度はそれなりに上がったとかがえているものの、成年後見制度普及啓発の点ではまだまだ道半ばであると思う。
自己評価 3	今回行った事業を通して、理解者や支援者は広がりましたか
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> 広がらなかった 出前講座参加者や講演会、展示会への来訪者には事業趣旨は十分に伝わっているとの手ごたえはあるが、会員獲得までにはなかなか結びついていない。

## 6 今後の課題と活動について

今後の課題と活動	活動開始して1年も経過しておらず、当面はしっかりと地に足をつけた活動を行っていく。今年も、障がい者施設向けに、後見制度に関する出前講座の実施、障がい者理解を深めるための講演会や映画会を通じ、区民に関心をもってもらい、NPO法人の活動に対する支援者の輪を広げていきたい
----------	---

## 7 普及啓発活動について

普及活動

当NPO法人の活動支援に「杉並区NPO支援基金」を使わせていただいていることをチラシやポスターの表示するとともに、講演会等の冒頭で紹介を行った。

## 8 活動状況について



← 出前講座 「後見実務の実際 身上監護」



講演会 講師：山本譲司 →  
「障害者の権利擁護について」  
～ 刑務所を福祉の代替施設としてもいいのか～

講演会 講師：広瀬浩二郎氏  
「ユニバーサルミュージアムの可能性を求めて」 ↓



ユニバーサルアート  
立体化された作品

